

「情報公開文書」 (Web ページ掲載用)

課題名：肝臓に対する陽子線治療後画像変化

1. 研究の対象

2008 年 1 月から 2018 年 12 月までに肝臓に対し筑波大学附属病院にて陽子線治療を行い、治療後に定期的に CT あるいは MRI 評価を行った方。

2. 研究期間

研究実施許可日～2026 年 3 月 31 日

3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

当院で試料・情報の利用を開始する予定日は以下の通りです。
利用開始(予定)日：2024 年 8 月 1 日頃

4. 研究目的

肝臓の場合では治療後壊死が残存し腫瘍縮小を伴わないことがしばしば認められ、放射線治療後の治療効果判定では、定まった評価方法は確立されていません。本研究では、肝臓への陽子線治療後の腫瘍縮小と治療成績との関係について明らかにすることが目的です。

5. 研究方法

腫瘍縮小については治療前後の CT や MRI 画像を使用します。治療成績については電子カルテから抽出して解析を行います。

6. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：肝臓の陽子線治療後の腫瘍縮小率(CT や MRI で腫瘍の長径・短径を測定)と関連因子(年齢、性別、線量分割、血液検査データ、肝炎の有無、前治療の有無)

7. 外部への試料・情報の提供

該当なし

8. 外国にある者に対して試料・情報の提供する場合

該当なし

9. 研究組織

本学単独研究

10. 利益相反(企業等との利害関係)について

無し

11. 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族(ご遺族)が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

1 2. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

当院における照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：筑波大学附属病院
陽子医学利用研究センター

担当者の所属・氏名：筑波大学附属病院放射線腫瘍科 新津光、水本斉志

住所：茨城県つくば市天久保 2-1-1

連絡先：029-853-7100（平日 9:00～17:30）

当院の研究責任者：筑波大学附属病院放射線腫瘍科 櫻井英幸